

# 令和6年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

地域再生計画（第55回認定）：高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト

## 資料4-1

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト				担当課名	教育課（芸北支所）
総合戦略における基本目標	<p>■ 基本目標2 キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進</p> <p>■ 方向2 ふるさとを愛する心と夢を育む教育の推進</p>					
事業始期	令和3年4月		事業終期	令和7年3月		
	令和3年度決算（1年目）	令和4年度決算（2年目）	令和5年度決算（3年目）	令和6年度決算（4年目）		計
事業費	18,579千円	16,706千円	18,652千円	18,526千円		53,884千円
交付金充当額	8,697千円	8,352千円	8,581千円	9,263千円		26,196千円
事業の目的	持続的な地域活性化のため地元高校と地域の協働による魅力ある教育環境をつくり、地域資源を活かした豊かな学びを創出し、地域の将来を担う子どもを育成する。					
事業概要	<p><b>1. 事業概要</b></p> <p>1. 地域みらい留学</p> <p>(1)地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーションを展開</p> <p>(a) チラシ・パンフレットの作成、WEBページの作成、PR動画の作成等</p> <p>●WEB・広報宣伝費 726,470円</p> <p>(2)都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催</p> <p>(a) (一財)地域・教育魅力化プラットフォームが東京・大阪・名古屋・福岡で開催する「地域みらいフェスタ」への開催負担金等</p> <p>●開催負担金 880,000円</p> <p>●フェスタ参加経費等 161,360円</p> <p>(3)都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会を実施</p> <p>(b) 都市部の中学生親子が各高校を回るためのバスの借上げ経費等</p> <p>●企画運営に係る業務委託料 23,640円</p> <p>2. 高校×地域</p> <p>(2)地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として育成・配置</p> <p>(a) 専門人材の雇用又はNPO法人等への業務委託</p> <p>●賃金 333,800円</p> <p>●コーディネート業務委託料 1,200,000円</p> <p>(3)地域住民の参画による課題先進地域をフィールドとした最先端の課題解決型学習、ふるさと教育やキャリア教育を実施</p> <p>(a) 高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」や「多世代対話型交流学習」、「大学企業連携事業」「グローバルの視点からの課題解決型学習」の実施</p> <p>●実施経費（需用費等） 373,228円</p> <p>●児童生徒輸送費 375,400円</p> <p>(b) 高校生による地域での就業観を醸成する「インターンシップ」の実施</p> <p>●児童生徒輸送費 307,120円</p> <p>(c) 高校での地域との協働による学びにしっかり接続し、より充実していくため、小中学校での「ふるさと/キャリア教育」の推進</p> <p>●実施経費（需用費等） 547,524円</p> <p>●児童生徒輸送費 187,500円</p> <p>(6)放課後等を利用し、地域の多様な大人が関わりながら、幅広い学力層の生徒の学習機会を提供（「公営塾」）</p> <p>●公営塾運営委託料 4,520,000円</p> <p>●人件費</p> <p>(8)地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備</p> <p>(a) 市町村の交流・研修施設等の地域資源を最大限に活用した寮の運営</p> <p>●寮を運営する団体への補助金 8,722,000円</p> <p>(9)高校や地域の個性に応じた魅力と特色ある教育活動を応援するための財源「地域ファンドレイズ」の検討・導入</p> <p>●検討経費</p> <p>3. 卒業生関係人口化</p> <p>(1)地域内外大学生・社会人との共創「若者共創キャンプ」を実施</p> <p>(a) 地域内外の大学生・社会人が、世代や立場を超えて、地域の未来をよりよくしていくアイデアやアクションプランを検討・実行を通じてよりよい地域の未来をつくる担い手の育成・挑戦機会の提供</p> <p>●講師謝金 168,800円</p>					

事業概要	<p><b>2. 事業の特色</b></p> <p>学校・地域住民・行政が三位一体となって地域の諸活動に参画し、地域の特色を活かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>■都市部等に向けて地域の魅力ある教育環境や受け入れ体制のプロモーションを展開</p> <p>■都市部等で中学生親子に向けた合同説明会への参画</p> <p>■都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会の実施</p> <p>■高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」等の実施により生徒の満足度が高まる学校生活</p> <p>■高校生による地域での就業感を醸成する「インターンシップ」の実施</p> <p>■グローバルな視点を持ち地域課題解決に取り組む高校生育成事業の実施</p>																																																					
重要業績評価指標（KPI）	<p><b>1. 地元高等学校数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前（計画時点）</th> <th>令和3年度（1年目）</th> <th>令和4年度（2年目）</th> <th>令和5年度（3年目）</th> <th>令和6年度（4年目）</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値（維持）</td> <td>-</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値（変動分）</td> <td>-</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 「将来、北広島町に貢献したい」と思っている子どもを持つ保護者の割合</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前（計画時点）</th> <th>令和3年度（1年目）</th> <th>令和4年度（2年目）</th> <th>令和5年度（3年目）</th> <th>令和6年度（4年目）</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値（増加分）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>50%以上</td> <td>50%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値（増加分）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>29%</td> <td>31%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※長期総合計画の成果指標に基づき質問内容を変更した。</p>						KPI	事業開始前（計画時点）	令和3年度（1年目）	令和4年度（2年目）	令和5年度（3年目）	令和6年度（4年目）			目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校			実績値（変動分）	-	3校	3校	3校	3校			KPI	事業開始前（計画時点）	令和3年度（1年目）	令和4年度（2年目）	令和5年度（3年目）	令和6年度（4年目）			目標値（増加分）	-	-	-	50%以上	50%以上			実績値（増加分）	-	-	-	29%	31%		
KPI	事業開始前（計画時点）	令和3年度（1年目）	令和4年度（2年目）	令和5年度（3年目）	令和6年度（4年目）																																																	
目標値（維持）	-	3校	3校	3校	3校																																																	
実績値（変動分）	-	3校	3校	3校	3校																																																	
KPI	事業開始前（計画時点）	令和3年度（1年目）	令和4年度（2年目）	令和5年度（3年目）	令和6年度（4年目）																																																	
目標値（増加分）	-	-	-	50%以上	50%以上																																																	
実績値（増加分）	-	-	-	29%	31%																																																	
実績値累計の目標達成・未達理由	<p><b>(KPI) 1. 地元高等学校数</b></p> <p>広島県教育委員会が県立高校の統廃合を検討する基準を定めているが、地元県立高校の特色を生かし、魅力ある学校づくりの取り組みを続け存続を達成している。</p> <p><b>(KPI) 2. 「将来、北広島町に貢献したい」と思っている子どもを持つ保護者の割合</b></p> <p>長期総合計画の成果指標に基づき、令和4年度から質問項目を「住みたいと思う」から「貢献したいと思っている」に変更した。その学校評価アンケートの結果によると、「将来北広島町に貢献したいと思っている」という質問の回答は31%となっている。肯定的な回答が多い地域では小中高の交流活動や地域交流が児童生徒の刺激になっていると考えられる。地域と学校の協働による教育環境の向上が地域に貢献したい気持ちにつながっていると考えられるため、町全域での取り組みを実施していく。</p>																																																					
令和6年度の事業評価（町による内部評価と判定理由）	<b>1. 地方創生への効果</b>		地方創生に効果があった。																																																			
	一部のKPIが目標間に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる。																																																					
	<b>2. 自立化の進捗状況</b>		実施計画に記載された自立化の見込：なし																																																			
	見込みを下回って自主財源等を確保している																																																					
課題・問題点	<p>・芸北分校は、一財)地域・教育魅力化プラットフォームが運営する地域みらい留学に参画し、東京でのフェスタ等に参加したことにより、県内外からの入学者数は増加し、80名を超える生徒数を確保できる状況となっている。また、学校にコーディネーターを配属し、地域住民の参画による地域課題解決型学習等を行うことで、地域の魅力を活かしていくための学習や取り組みを行うことができた。しかし、一方で、芸北地域の生徒数は減少傾向であり、引き続き他地域の生徒からも選ばれる学校となるように地域の特色を生かした魅力づくりが必要である。</p> <p>・千代田高校は、千代田中学校から千代田高校への進学率は数年間40%代で伸び悩んでいる。千代田高校で実施している公営塾「知与塾」の入塾生へのアンケート調査の結果では、毎年肯定的な回答が多いものの、塾を利用する生徒は減少している。引き続き、地元中学校から選ばれる学校になるための積極的な取り組みを行い、地域の次世代を担う人材を確保することが課題である。</p> <p>・これまで地域の特色を生かした高等学校における魅力づくりにより、選ばれる学校・地域の次世代を担う人材確保のための取り組みによって令和6年度における町全体の地元高校進学率は66%となり、一定の成果は出ていると評価している。今後とも外部から越境し居住する人材の確保に努めるとともに、町内の児童生徒が北広島町の魅力を再認識し、地域の大人との関わりを通じて「ふるさと北広島町」への愛着を深め、小中高を通じて地元愛に溢れる地域創生人材の育成を目指す。</p>																																																					

事業名	農業振興によるまちづくり推進事業			担当課名	農林課
総合戦略における基本目標	■ 基本目標1 心響くしごとづくりと産業の魅力発信 ■ 方向3 農林畜産分野のブランド化と人材の確保				
事業始期	令和5年4月	事業終期	令和8年3月		
	令和5年度決算 (1年目)	令和6年度決算 (2年目)	令和7年度当初予算 (3年目)	計	
事業費	4,990千円	9,989千円	10,000千円	24,979千円	
交付金充当額	2,494千円	4,994千円	5,000千円	12,488千円	
事業の目的	農業者、地域住民、行政等が地域農業が抱える課題解決に向けて協働して取り組む目的、方向性を示す将来ビジョンを策定するとともに将来ビジョンの実現に取り組む官民連携型のコンソーシアムを構築する。特に、「米どころ北広島町」のブランディングを基軸に観光、教育、地域づくりなど幅広い分野での地域活性化を図ることによる地方創生を実現する。				
事業概要	<p><b>1. 事業概要</b></p> <p>①将来像の実現に向けた官民連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官民が連携する「将来ビジョン策定委員会」の立ち上げ（庁舎内関係課及び、関係団体と連携した検討体制を構築）</li> <li>専門人材の活用により「農業振興によるまちづくり」が目指す将来ビジョンの策定（官民が協働して取り組む理念や具体的な事業内容、ロードマップなどを明確化）</li> </ul> <p>②「米どころ北広島町」のブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブランディング事業に取り組む官民が連携したコンソーシアムの構築</li> <li>マーケティング等の専門人材の活用による北広島町産米のブランド化の推進</li> <li>町内産ブランド米の発信・販売促進</li> <li>農業を「する」「楽しむ」「学ぶ」といった要素を活用した都市住民（消費者）との交流機会の創出による関係・交流人口の拡大</li> </ul> <p>事業費経費内訳</p> <p>【「農業振興によるまちづくり」推進事業の将来ビジョン効果検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来ビジョン策定委員会での効果検証                     <ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザー招聘費用 391,380円</li> <li>効果検証・分析・報告業務 998,551円</li> </ul> </li> <li>【コンソーシアムの構築と自立に向けた活動支援】</li> <li>○コンソーシアムの自立に向けた収益事業の拡大について学習会を開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>コンソーシアムの収益事業拡大に関する専門人材招聘費用 598,290円</li> </ul> </li> <li>○マーケティング等の専門人材の活用による北広島町産米のブランド化の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティング等の専門人材招聘費用 954,799円</li> <li>「米どころ北広島町」のイメージ動画や、PR冊子の作成 1,742,411円</li> </ul> </li> <li>○インフルエンサーを招聘し、SNSによる情報発信講座を開催                     <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSによる情報発信の専門家の招聘費用 2,455,429円</li> </ul> </li> <li>○農業を「する」「楽しむ」「学ぶ」といった要素を活用した都市住民との交流機会の創出による関係・交流人口の拡大                     <ul style="list-style-type: none"> <li>農業を活用した交流促進の専門人材招聘費用 1,430,378円</li> <li>農業を「する」だけでなく、「楽しむ」「学ぶ」といった要素を取り入れたツーリズムの開発</li> <li>イベント開催経費 300,000円</li> </ul> </li> <li>○「米どころ北広島町」ブランディング事業の効果検証・分析・報告等業務 1,118,522円</li> </ul>				

事業概要	<p><b>2. 事業の特色</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域再生法の地線措置によらない独自の取組</li> <li>(事業名) 全日本お米グランプリin北広島町開催</li> <li>(事業概要) 全国の米生産者が参加する米コンテストを開催。全国の生産者が交流する場を創出し、良質米の生産に取り組む生産者が切磋琢磨することで米の品質向上、消費拡大を促進する。</li> </ul>																																																	
重要業績評価指標 (KPI)	<p><b>1. 将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和5年度 (1年目)</th> <th>令和6年度 (2年目)</th> <th>令和7年度 (3年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 全日本お米グランプリin北広島町への応募点数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和5年度 (1年目)</th> <th>令和6年度 (2年目)</th> <th>令和7年度 (3年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>363点</td> <td>50点</td> <td>50点</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>-86点</td> <td>21点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3. 農業の担い手確保(新規就農者)の人数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和5年度 (1年目)</th> <th>令和6年度 (2年目)</th> <th>令和7年度 (3年目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>14人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	目標値(増加分)	0件	0件	2件	3件	実績値(増加分)	-	1件	2件		KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	目標値(増加分)	363点	50点	50点	50点	実績値(増加分)	-	-86点	21点		KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	目標値(増加分)	14人	2人	2人	2人	実績値(増加分)	-	3人	6人	
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)																																														
目標値(増加分)	0件	0件	2件	3件																																														
実績値(増加分)	-	1件	2件																																															
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)																																														
目標値(増加分)	363点	50点	50点	50点																																														
実績値(増加分)	-	-86点	21点																																															
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)																																														
目標値(増加分)	14人	2人	2人	2人																																														
実績値(増加分)	-	3人	6人																																															
実績値累計の実績値累計の目標達成・未達理由	<p>(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))</p> <p>(KPI) 1. 将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数 全日本お米グランプリin北広島町での入賞を契機に地域住民が新たにブランド米の販売や、米生産者が米粉を使用したパスタの海外輸出に取り組むなど合計2件の新たな取り組みが始まった。</p> <p>(KPI) 2. 全日本お米グランプリin北広島町への応募点数 全日本お米グランプリin北広島町への出品点数の増加を図るに向けて取り組みを行ったが、大会認知度を向上させることが難しく、前年度よりも21点増加したものの目標値を達成することができなかった。</p> <p>(KPI) 3. 農業の担い手確保(新規就農者)の人数</p>																																																	
令和5年度の事業評価(町による内部評価と判定理由)	<p><b>1. 地方創生への効果</b> 地方創生に非常に効果的であった</p> <p>芸北分校と連携したお米を使った新商品の開発や、千代田中学校と連携した千代田中学校版のお米グランプリの開催など若い世代が本町のお米の魅力を発信する取り組みにつながった。</p> <p><b>2. 自立化の進捗状況</b> 実施計画に記載された自立化の見込：あり</p> <p>コンソーシアムが町内米の商品化及び販売に取り組んでおり、将来的な収益確保が見込まれ</p>																																																	
課題・問題点	<p>「米どころ北広島町」発信プロジェクトを通じて、本町で生産されるお米の魅力を発信し、最終的には生産者の収益増加につなげていきたいと考えており、まずは、広島県内における「米どころ」としての認知度を向上させるとともに、販路拡大による消費拡大を図っていきたい。</p> <p>SNS(インスタグラム)による情報発信で町内産米の食べれるお店の紹介やイベント情報などを発信している。フォロワー数も増加し一定のPR効果が期待できる。しかしながら現在は国の補助金を活用してインフルエンサーなどの専門家に委託して情報発信を行っている。今後、継続的に魅力を感じてもらえるページを制作するためには相当の費用が必要となり予算の確保が課題となる。</p> <p>また、コンソーシアムによる米を使用したお土産品の開発、製造を行うためには、加工施設の整備などの予算確保、場所の選定など課題がある。</p>																																																	

# 令和6年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

地域再生計画（第68回認定）：目的観光地としての食（白米）魅力発信事業

## 資料4-3

事業名	目的観光地としての食（白米）魅力発信事業			担当課名	商工観光課
総合戦略における基本目標	<b>■ 基本目標 2</b> キタを体感する交流・定住と次代を担うひとつづくりの推進 <b>■ 方向 1</b> ひとを呼び込む「きたひろしまの魅力」発信				
事業始期	令和5年8月		事業終期	令和8年3月	
	令和5年度 決算 (1年目)	令和6年度 決算 (2年目)	令和7年度 当初予算 (3年目)	計	
事業費	15,000千円	8,000千円	5,000千円	28,000千円	
交付金充当額	7,499千円	4,000千円	2,500千円	13,999千円	

事業の目的

北広島町は稲作を中心とした農業が盛んであり、ユネスコ無形文化遺産の「壬生の花田植」があり、稲作文化が根付いている。北広島町産のコメは町外からも評価が高く、また令和4年に開催された第1回全日本お米グランプリにおいては、北広島町のコメが準グランプリに選ばれた。この地域特性を生かし、本町の魅力ある特性を認知してもらうことに重点を置き、「北広島町へ新しい人の流れを作る」という将来目標を着実に進めていく。

事業概要

「交流人口増」を実現するために、重要な要素となる「町内外に向けた情報発信・情報共有」による交流人口誘致を当事業の主軸として取り組む。

具体的には、発信する価値を、評価が高いコンテンツである”北広島に実際に来て北広島の水で炊いて食べる北広島産白米”に定め、以下の流れで戦略策定と徹底的な情報発信を実施する。

- 北広島町来訪価値の発掘調査・検討・会議の実施と方針の策定  
 まずはターゲットや情報発信量および質、観光客の属性、興味の対象などの「現実」と「あるべき姿」のGAP分析を行い、やるべきことを再認識し町、町民、コンソーシアムに共有する。同時に、本町における存在価値の極めて高い「来て食べる白米」を再発掘・再発見・ブラッシュアップするとともに、GAPを埋めるための方針を策定する。
- 価値の徹底的な拡散  
 今すでに価値があるものと新たに発掘した価値のあるものを情報拡散していく。方法としては、委託により各々の価値の魅力や文字およびビジュアルに起こし町内外に発信していく。  
 具体的には大量のプレスリリース発信により多くのメディアに取り上げてもらう、SNSにより大量の情報を発信し、シェアしてもらうことで拡散させる、WEBページをデザイン的および構造的に整備し、情報の正確性を担保するとともに北広島町にいたいほしい世界観の統一を行うことを徹底的に実施する。
- 住民主導型の情報発信を誘導  
 官や企業が主導するのではなく、住民による情報発信を実施するため講習会や勉強会を2か月に1回程度定期的に開催する。これは官や企業によるものではなく、住民自らが主体的に情報発信できるよう、まずは種類や用途から情報発信の意味を講習会・勉強会等によって丁寧に伝えていく。

【事業経費内訳】

統一感のある世界観構築のためのSNSによる情報発信実務

- 北広島白米観光誘客推進協議会での調査研究 2,500,000円  
 アドバイザー招聘費用、効果検証・分析・報告業務
- SNSの活用講座・情報発信教育実施（観光関連事業者） 77,000円
- 汎用的コンテンツを利用した情報共有とSNS拡散の実施 2,640,000円  
 プロモーションロゴ・コピー作成、ページ制作、全国リリース（作成・配信）

広報に対して戦略的に有意義なイベントの実施業務

- 戦略的イベント事業の調査研究・分析・報告等業務 88,000円
- 「白米を食べにくる」ことを目的としたイベントのへ変換・実施 2,695,000円  
 コンテンツ開発・磨き上げ伴走支援、ツーリズムの開発、イベント開催

重要業績評価指標 (KPI)	1. 北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数				
	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
	目標値(増加分)	3,099PV	619PV	619PV	619PV
	実績値(増加分)	-	0PV	<u>19,271PV</u>	
重要業績評価指標 (KPI)	2. 北広島町SNSのフォロワー数				
	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
	目標値(増加分)	6,200人	155人	310人	310人
	実績値(増加分)	-	0人	<u>1,931人</u>	
重要業績評価指標 (KPI)	3. SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数				
	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
	目標値(増加分)	3件	90件	180件	180件
	実績値(増加分)	-	0件	<u>595件</u>	
重要業績評価指標 (KPI)	4. SNS発信講習会に参加した延べ住民人数				
	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
	目標値(増加分)	0人	30人	30人	30人
	実績値(増加分)	-	0人	<u>120人</u>	

実績値累計の  
実績値累計の  
目標達成・未達理由

(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))

(KPI) 1. 北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数  
 R6年10月に専用のランディングページを立ち上げ、WEBプロモーションを打ち出すなどでアクセス数を獲得した。

(KPI) 2. 北広島町SNSのフォロワー数  
 WEBキャンペーンとのリンク、あるいは、「#おこめのわわわ」をつけて関連の情報を発信することにより、注目度を高めフォロワー数を獲得した。

(KPI) 3. SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数  
 WEBプロモーションによる「シェア」の誘導により、フォロワー数を獲得した。

(KPI) 4. SNS発信講習会に参加した延べ住民人数  
 お米の関連の特産品・飲食店メニュー・体験コンテンツをおこめのわわわプロジェクトとして、関連する19事業者へ伴走支援を行い、同時にSNS等の発信講習を行った。

令和6年度の事業評価 (町による内部評価と判定理由)	1. 地方創生への効果	地方創生に効果があった
	北広島米につながる北広島町の産品や観光資源の事業者を伴走、魅力的な産品・コンテンツの開発・磨き上げを行い、町へ誘客するプロモーションを展開した。	
	2. 自立化の進捗状況	実施計画に記載された自立化の見込：なし

事業推進体制の構築について、将来の受け皿となる北広島町版DMOについて協議を行った。

第3次北広島町観光振興まちづくり計画における北広島町の現状と課題の整理や、北広島町観光推進組織に求められる機能の洗い出しを行うなど、観光地域づくり法人(DMO)の登録を見据えた要件や地域商社機能を兼ね備えた、新商品開発やサービス向上の伴走支援の機能を実装する支援組織の構築に引き続き取り組む。

課題・問題点